

OYSTER PERPETUAL
GMT-MASTER II



ROLEX

はじめてご使用になる際は

ロレックスをはじめてご使用になる際や、時計が止まった時には正確に動くようにゼンマイを巻く必要があります。

ゼンマイを巻くには、リューズを反時計回りに回しゆるめた状態で、リューズを時計回りに回します。

(逆に回してもゼンマイは巻かれません)

十分にゼンマイが巻きあがるよう、少なくとも25回転以上リューズを回してください。着用中は手首の動きによってゼンマイが自動的に巻かれます。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んで元に戻してください。



お買い求めのロレックスについているグリーン
のタグは、高精度クロノメーターであることを意味します。
この独自の称号は、ムーブメントが COSC（スイス
公認クロノメーター検査協会）による公式認定
を受けており、さらにロレックスが自社内で行う
一連の最終検査を通過したことを証明しています。
クロノメーター精度及び、防水性能、自動巻、信頼性
を独自に検査することにより、ロレックスは機械式
腕時計の卓越性において新たな基準を打ち立てて
います。さらなる詳細は、[rolex.com](https://www.rolex.com)をご覧ください。



GMTマスターII

オイスター パーベチュアル GMTマスターII	4-5
同時に2つのタイムゾーンの時刻表示、さらに新たなタイムゾーンの時刻表示	6-7

操作方法

各部の名称	8-9
操作方法	10-19
イージーリンク	20-21

ロレックス アフターサービス

お手入れ方法	22-23
アフターサービス	24-25
ワールドワイドサービス	26

ROLEX.COM



ROLEX

PERPETUAL DATE



GMT-MASTER II

SUPERLATIVE CHRONOMETER

OFFICIALLY CERTIFIED

オイスター パーペチュアル GMTマスターII

高い精度と信頼性、機能性を備えるオイスターパーペチュアル GMTマスターIIはローカルタイム（現地時刻）とホームタイム（基準時刻）の2つのタイムゾーンの時刻を同時に表示します。さらにホームタイムに代わる新たなタイムゾーンの時刻表示が可能です。この時計は24時間針と24時間目盛り入り回転ベゼルを搭載しています。40mmのケースは水深100m（330フィート）までの防水性能が保証されており、堅牢性の象徴となっています。ダイヤルは暗闇でブルーの光を放つ長時間継続の発光素材をコーティングしたクロマライトアワーマーカーと針を備え、優れた視認性を提供します。

三重密閉構造のトリブロックリュースはミドルケース一体型のリュースガードにより保護されており、3時位置にサイクロップレンズを搭載したサファイアクリスタルは耐傷性に優れ、反射防止コーティングが施されています。

オイスター パーペチュアル GMTマスターIIはロレックスが完全自社製造した機械式自動巻ムーブメントを搭載しています。

オイスター パーペチュアル GMTマスターIIにはオイスターロッククラスプとイージーリンク（エクステンションリンク）を備えたオイスタープレスレット、もしくはジュビリープレスレットが装備されています。

同時に2つのタイムゾーンの時刻表示 さらに新たなタイムゾーンの時刻表示



オイスター パーペチュアル GMTマスターII は旅行者がローカルタイムとホームタイムを同時に読み取ることが可能にします。

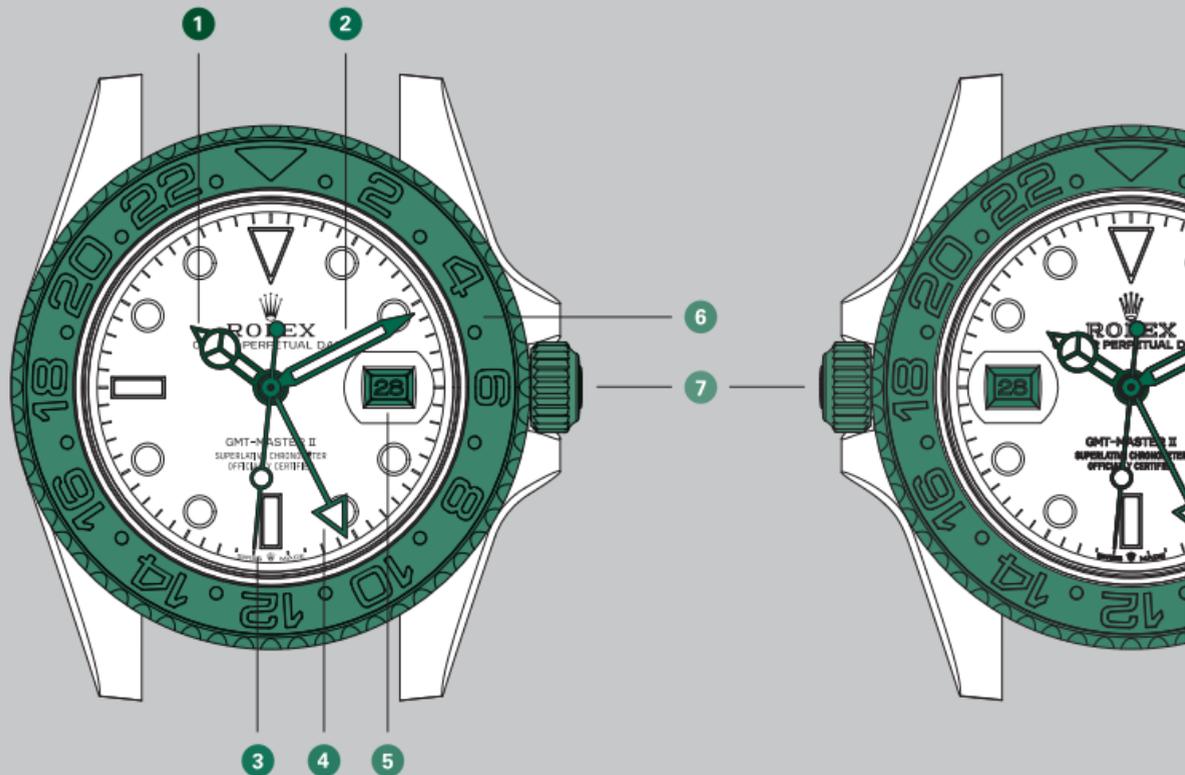
ローカルタイムは、通常の時計、分針、秒針で示します。ホームタイムは矢印の形をした24時間針で表示され、ベゼルの三角形を12時位置に合わせたニュートラルポジションにある時にベゼル上の目盛りで読み取ることができます。

ローカルタイムの時針は時計の機能に影響を及ぼすことなく1時間ずつ素早く容易に調整することができます。日付はローカルタイムに連動して変わるのでダイヤル上の小窓には常にローカルタイムでの日付が表示されます。

さらにGMTマスターIIの両方向回転ベゼルを回転させることにより、ホームタイムに代わる新たなタイムゾーンの時刻表示が可能です。(P18参照)
この場合、ホームタイムは表示されなくなります。

各部の名称

- 1 時針
- 2 分針
- 3 秒針
- 4 24時間針
- 5 日付表示
- 6 24時間目盛り入りセラミック製セラクロムベゼル
インサートを備えた両方向回転ベゼル
- 7 トリブロックリュース(三重防水システム)



左側にリューズがあるモデル

操作方法

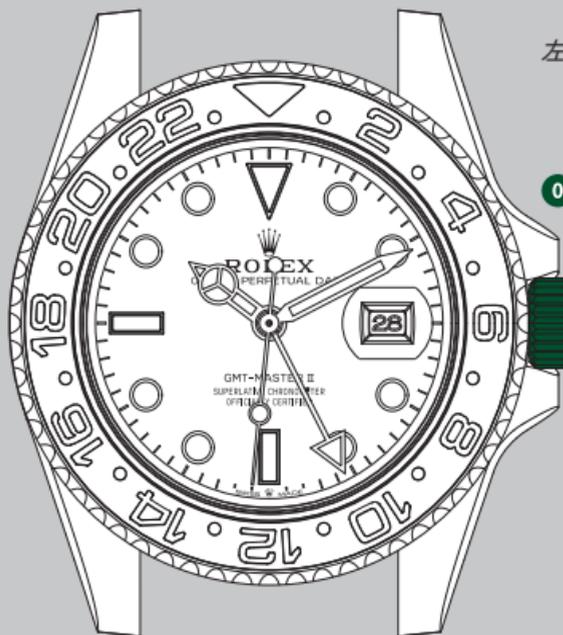
この操作方法是、左側にリューズがあるモデルにも適用されます。

リューズ位置 0

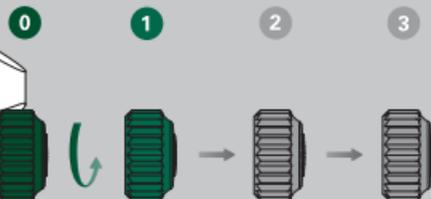
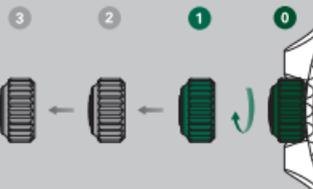
リューズが十分にねじ込まれている状態です。リューズがこの位置にあるときに、オイスターパーベチュアル GMTマスターIIは水深100m (330フィート)までの防水性能を保証します。

リューズ位置 1 – ゼンマイを巻く

リューズをゆるめます。ゼンマイを巻くには、リューズを時計回りに回します。逆に回しても、ゼンマイを巻くことはできません。はじめてご使用になる際や時計が止まった時には、少なくとも25回転以上リューズを回し、ゼンマイを巻きあげてください。



左側にリューズがあるモデル



リューズをゆるめます。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

時計の設定は以下の手順で行ってください。

1. ホームタイムの設定 (リューズ位置3)

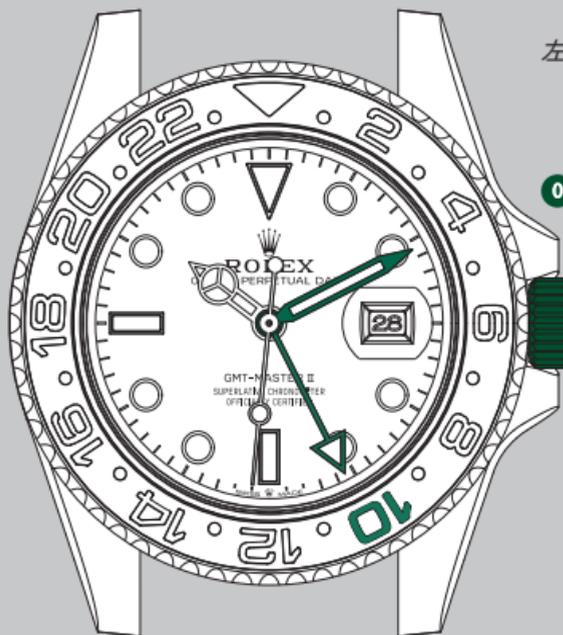
ホームタイムの設定は以下の手順で行います。

- リューズをゆるめ、2段階引き出します。この位置では秒針が止まっているので、正確な時刻合わせが可能です。

- ベゼルをニュートラルポジション(ベゼルの三角形を12時に合わせた位置)に設定します。
- リューズをいずれかの方向に回し、ベゼル上の目盛りで24時間針を、ダイヤル上の目盛りで分針を合わせ、ホームタイムを設定します。

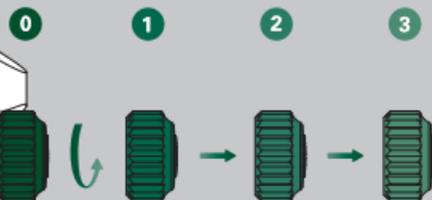
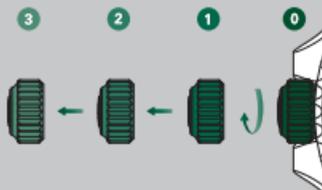
ホームタイムをセットすると、時計(ローカルタイム)も動きます。そのため、ホームタイムは必ずローカルタイムを設定する前にセットしてください。

ステップ2へ続く →



*ホームタイム (ジュネーブ) は午前10時10分

左側にリューズがあるモデル



リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

2. 日付とローカルタイムの設定 (リューズ位置2)

日付とローカルタイムの設定は以下の手順で行います。

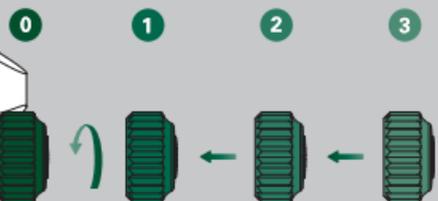
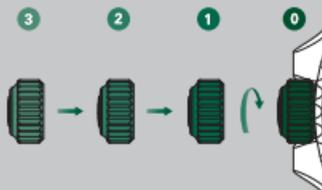
- リューズを1段階引き出します。
- リューズをいずれかの方向に回し、日付を設定します。時計は1時間ずつ進みます。どちらの方向に回しても、針がダイヤル上を2周して深夜12時を過ぎると日付が変わります。

- リューズをいずれかの方向に回し、ローカルタイムを設定します。時計は1時間ずつ進みます。午前と午後の違いに注意してください(針が深夜12時を過ぎると日付が変わります)。
- リューズをケースに押し込みながら、ねじ込んでください。

ホームタイムのタイムゾーンにいる時は、ローカルタイムとホームタイム(24時間針)を一致させておくと、旅行の際に容易に時刻調整ができます。



左側にリューズがあるモデル



ケースに押し込みながら、ねじ込む

- ホームタイム (ジュネーブ) は午前10時10分
- ローカルタイム (ジュネーブ) も午前10時10分

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

ローカルタイムの変更 (リユーズ位置2)

旅行の際に、24時間表示によるホームタイムは
変えずにローカルタイムのみを調整するには、以下の
手順で行います。

- リユーズゆるめ、1段階引き出します。
- リユーズをいずれかの方向に回し、ローカルタイム
を設定します。時針は1時間ずつ進みます。日付は
ローカルタイムに連動し、時針が深夜12時を過ぎる
と自動的に変わります。

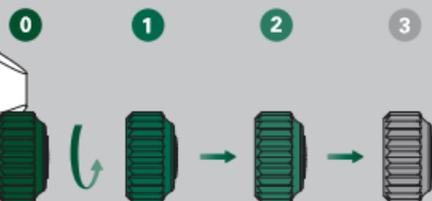
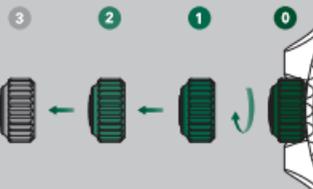
- リユーズをケースに押し込みながら、最後まで
ねじ込んでください。

24時間針はホームタイムを表示し、午前と午後を区別
して読み取ることができます。



- ホームタイム (ジュネーブ) は午前10時10分
- ローカルタイム (ニューヨーク) は午前4時10分

左側にリューズがあるモデル



リューズをゆるめ、引き出す

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

新たなタイムゾーンの設定 (ベゼルのみの設定)

新たなタイムゾーンは回転ベゼルと24時間針によって表示されます。(通常はホームタイムが表示されています。)

新たなタイムゾーンを表示させるには、まず、ベゼルの三角形を12時位置に合わせたニュートラルポジションにベゼルを設定します。それから、表示させたいタイムゾーンとホームタイムの時差を計算し、進んでいる場合(ホームタイムより東側の場合)にはベゼルを反時計回りに、遅れている場合(ホームタイムより西側の場合)にはベゼルを時計回りに回転させます。

24時間針が新たなタイムゾーンの時刻を、ベゼル上で表示します。分は分針によりダイアル上で表示されます。

例:

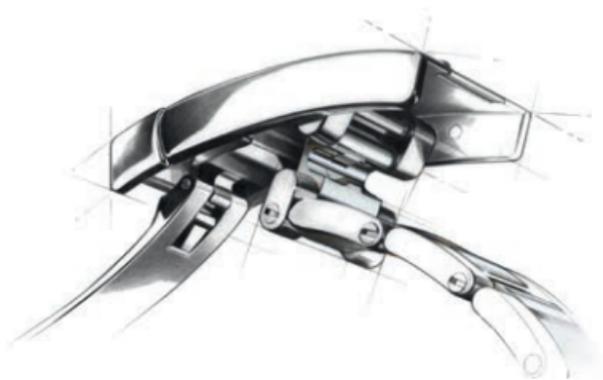
東京の時刻(ホームタイムであるジュネーブより8時間進んでいる)を表示するには、ベゼルを反時計回りに8時間分回転させます。

ホームタイムの表示に戻すには、ベゼルを時計回りまたは反時計回りに回して、ベゼルの三角形を12時位置に合わせたニュートラルポジションに設定します。



- ローカルタイム (ニューヨーク) は午前4時10分
- 新たなタイムゾーン (東京) は午後6時10分

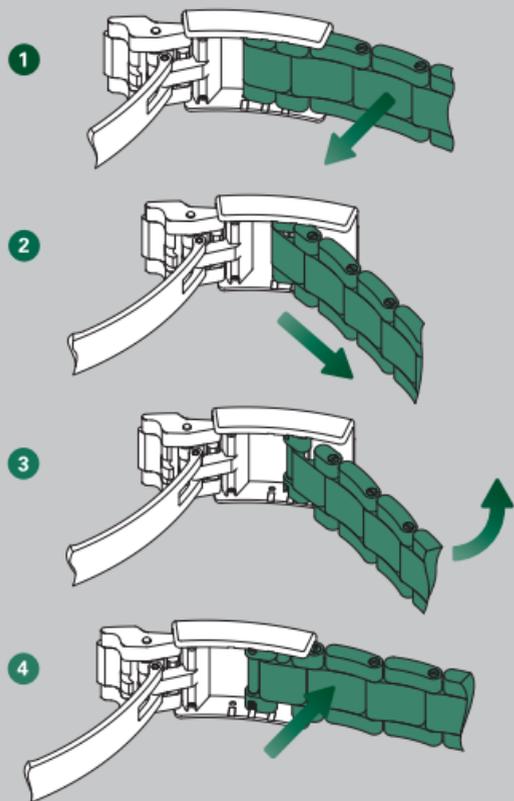
イージーリンク*



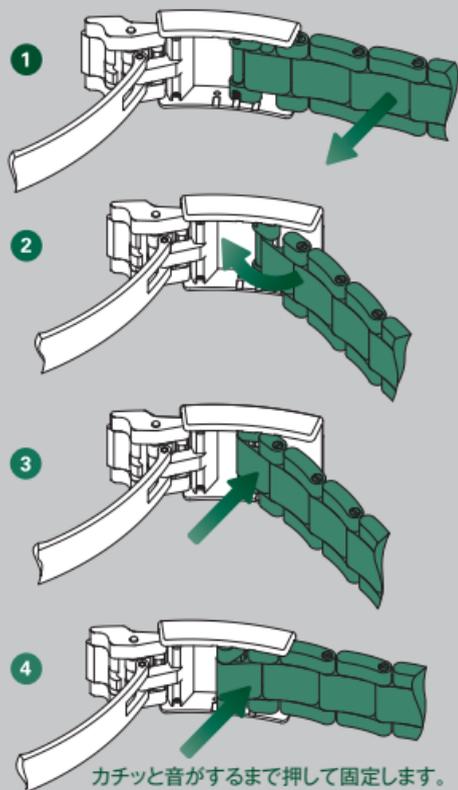
時計を快適に着用していただけるようにロレックスはイージーリンク(エクステンションリンク)を開発しました。独自の設計によりリンクを引き出したり、折りたたんだりして工具などを使わずにブレスレットの長さを約5mm調節することができます。

*オイスターブレスレットとジュビリーブレスレットに搭載

短い状態から長い状態にする場合



長い状態から短い状態にする場合



お手入れ方法

日々の簡単なお手入れによってご愛用のロレックスをより良い状態に保つことができます。

必要に応じて、柔らかい布(マイクロファイバークロス等)で拭いてください。ケースやブレスレットを柔らかいブラシと石鹼水で洗うことも可能です。また、海でご使用の後は、真水で海水や砂をよく洗い流してください。

お手入れの際は、防水性を確実にするために
リュースが最後までねじ込まれていることを
ご確認の上、行ってください。

アフターサービス

お客様の時計が精度と信頼性、防水性能において最適な性能を保ち、その特有の輝きを維持するために、ロレックスでは万全のアフターサービス体制を整えています。

ロレックス ウォッチのムーブメントが正しく機能し正確に時を刻むことができるのは、ロレックスが特別に開発した高性能な潤滑油が使用されているためです。潤滑油の特性は通常、時間の経過とともに劣化し、ムーブメントの精度に影響を与える可能性があります。

また、時計の防水性能を確認するためには厳しい技術的な検査を行うことが重要です。

こうした理由から、ロレックスでは定期的なオーバーホールをお薦めしております。オーバーホールはロレックス正規品販売店またはロレックス サービスセンターで受け付けており、ロレックスの時計技術者が承ります。

オーバーホールでは、ケース、ブレスレット、ムーブメントといった全ての構成部品が分解され入念に検査されます。

ムーブメントは完全に分解され、すべての部品が綿密に点検されます。ロレックスの品質基準を満たしていない部品は新しい部品に交換されます。ムーブメントは再度組み立てられる際に注油されます。ケースとブレスレットは本来の仕上げに従って、ポリッシュ仕上げまたはサテン仕上げが施され、傷などが取り除かれ、輝きと光沢を取り戻します。

最後の工程で、時計の機能、防水性能、パワーリザーブおよびムーブメントの精度を確認するために一連の検査が行われます。

オーバーホールを終えた時計には、サービス保証書が発行されます。

ワールドワイドサービス

ロレックスの正規品販売店とサービスセンターは世界100カ国以上にネットワークを広げ、ロレックスのサービスセンターにはトレーニングを受けた熟練の時計技術者がいます。

ロレックス正規品販売店では、ブレスレットのサイズ調整やオーバーホールなど、時計の機能やアフターサービスに関するご相談を承っております。

ロレックスの正規品販売店およびサービスカウンター、サービスセンターについては [rolex.com](https://www.rolex.com) でご確認ください。

ROLEX.COM

rolex.com では時計の機能や品質、ロレックスの技術、ブランドの価値観などをご紹介します。

ようこそ、ロレックスの世界へ。

Rolex reserves the right to modify the models illustrated in this publication at any time.

© Rolex SA, 3-5-7, rue François-Dussaud, 1211 Geneva 26, Switzerland
IMR-GMT-JA-22 - 9.2023

[rolex.com](https://www.rolex.com)

